

流行ニュース：

## &lt;炭疽、アメリカ合衆国（最新情報）&gt;

疾病管理予防センター（CDC）は、10月16日現在、フロリダで2例の炭疽患者が発生、1例の曝露例があり、ニューヨークにおいては2例の炭疽発症患者と3例の曝露例が発生したことを公表した。首都ワシントンにおいても炭疽発症の可能性に関する公衆保健学的調査が行われている。アメリカ合衆国全体に炭疽を発症する可能性があることを示した多くの報告がある。炭疽曝露や発症有無は各州政府が行っており、CDCは炭疽菌やその他の病原微生物の脅威に対する対処法について、それぞれの州に技術的な指導（援助）を行っている。

炭疽は、炭疽菌によって引き起こされる疾患である。炭疽には主要な3タイプがある。すなわち、直接炭疽菌に皮膚が接触することで発症する「皮膚炭疽」、炭疽菌の摂取により発症する「腸炭疽」、空気中から気道を介して吸入し発症する「肺炭疽」の3タイプである。炭疽は伝染病でない。すなわち、人から人へ感染はしない。

## &lt;髄膜炎菌感染症、コンゴ民主主義共和国&gt;

WHOは、南Kivu地方のKatana地帯において27人の死亡例を含む283症例（致命率、9.54%）の報告を受けた。国際緊急援助隊（レスキュー）委員会はWHOと保健省と協調して疾病の流行症を抑制するために活動を行っており、細菌性髄膜炎の流行地帯においては学童と医療従事者全員にワクチン投与するキャンペーンを既に行っている。WHOは30,000人分のワクチンと1,000人分の油性クロラムフェニコールの提供を完了した。流行していない地域において、より多くの人々にワクチン接種を行うため、さらに多くのワクチンが必要である。流行予防のためには、ワクチン接種以外の方法として地域社会の人々の動員と保健教育およびヘルスケアワーカーの訓練が必要とされている。

## &lt;髄膜炎菌感染症、アンゴラ（最新情報）&gt;

10月2日現在、332例の感染例と30人の死亡例がWHOに報告されている。最初に流行した地方は、Benguela、Cuando Cubango、Cunene、LuandaとLunda Sulである。

2001年の始めにBenguela地方のBalombo地域において細菌性髄膜炎が報告されたが、ワクチン接種キャンペーン後の現在では沈静化している。Cunene地方からの報告では髄膜炎の発症は続いている。しかし、最新情報によると週間の発症例は減少していることが判明した。保健省とWHOの共同調査団は、疫学サーベイランスと流行に対する準備および流行に対する反応能力を、緊急医療材料へのアクセスの改善を含めて、強化する必要があることを明らかにしている。

## &lt;2001年10月18日付け 感染地域リスト&gt;

ペスト・コレラ・黄熱の感染地域を記載している。(WER 参照)

流行ニュースの続報：

## &lt;インフルエンザ&gt;

オーストラリア（2001年10月8日）：オーストラリア北部のBathurst島において、インフルエンザの流行が報告された。インフルエンザA、ニューカレドニア/20/99（H1N1）様のウイルスが分離された。

ベルギー（2001年10月8日）：インフルエンザ様の疾患の割合は9月後半の2週めから増加し始めた。しかし、インフルエンザウイルスは未だ検出されていない。

フィリピン（2001年10月6日）：インフルエンザ様の疾患の流行は、10月の第1週にマニラの学校で報告された。学童19人が感染し、インフルエンザA型ウイルスが検出された。

（山田忍、多淵芳樹、石川雄一）